

入学式

令和5年4月7日に入学式が行われ、緊張した面持ちで、29人(女性22人、男性7人)の新入生が出席し、なぎ看護学生としてのスタートを切りました。

今年は4年ぶりに保護者・来賓のみなさま、在校生が出席し、コロナ禍前の状況にほぼ近い形で開催できました。

式では、杉山学校長が、信頼される看護師になるための7つのポイント(学び続ける姿勢・体力と精神力・コミュニケーション能力・ルールを理解し遵守すること・共感力と想像力・オンとオフの切り替えができる力・明るさ)を紹介し、「看護師は、人の命に係わる職業。やりがいがある反面、責任が伴う。そのことを忘れず、3年間様々なことを積極的に学んでください」と激励しました。

また、在校生を代表して3年生の間所朱璃さんが、「周囲の方々への感謝の気持ちと看護師になりたいという、まっすぐな思いを忘れず、共に支え合い夢を実現しましょう」と歓迎の言葉を伝えました。

これに対し、新入生代表の山田祐衣さんが、「3年後には観察力、決断力、そして思いやりと優しさを持った誠実で信頼される看護師になるため日々努力していくことを誓います」と力強く宣誓しました。

新入生を迎え、教職員一同ワクワクしながら、学生と共に今年度も頑張っていきます。

